



浅間山麓

未来への遺産

Vol.77

1300年前 御代田の住宅事情

奈良時代の竪穴住居 御代田^{じゅうに}十二遺跡

奈良に都がつくられた頃、ここ御代田にもたくさんの家が立ち並んでいた。

とはいっても、床の高い今のような家でなく、縄文時代から変わらない竪穴式住居であった。地面を掘りくぼめた半地下式の家である。

「なんだ原始的な」ということなけれ、じつは竪穴式住居は、いわば今のモロのよつなもの、夏涼しくて、冬暖かいのである。きわめて合理的な住宅であり、御代田ばかりでなく、東日本の人々は、いずれもこの竪穴式住居に住んでいた。住宅ローンの悩みもなかった時代のことだ。

今建て替えを検討中なら、思い切って竪穴住居はいかがだろう。究極のエコ住宅として、光熱水費が節約できるはずだ。

軽いユーモアはさておき、この竪穴住居の平均面積は20㎡ほど、いわば12畳間ほどの広さである。ここで家族ひとかたまりが暮らしていた。今のよう、部屋がいくつも分かれておらず、子供が自分の部屋に閉じこもることもなかった。否が応でも家族は顔をつきあわせていたのである。

家の中には食をまかなうカマドがつくりつけられていた。カマドは火の神の宿る神聖な場所であった。



十二遺跡の発掘調査

企画展

縄文の動 弥生の静

10月11日(土) ~ 11月30日(日)

(広告欄)

www.minebea.co.jp

ミネベアの強さと特色…その2

垂直統合生産システム

世界各地の生産拠点での大量生産を可能にします。



ミネベア株式会社 ●本社・軽井沢工場 / 〒389-0293 北佐久郡御代田町大字御代田41106-73
TEL.0267-32-2200 FAX.0267-31-1350 http://www.minebea.co.jp

ミネベアの主力製品は、主として高性能化と市場の拡大が進む情報通信機器や家電製品、自動車などに使われるため、「高い精度・品質と大量生産」が必要とされます。ミネベアは設計・研究開発から、金型の製造・補修、プレス部品・プラスチック射出成形部品・ダイキャスト部品・機械加工部品・マグネットなどの構成部品の内製、組立に至る独自の垂直統合生産システムを確立しており、「精密機械加工部品の大量生産」を可能にしています。特に、ミネベア・グループ全体の売上高の約80%近くを占めるタイ、中国、シンガポールの量産拠点と日本のマザー工場、各国の開発拠点は有機的に結びついており、どの工場でも安定した品質の製品を世界市場向けに販売できる体制が確立されています。



みよた広報やまゆりは、環境保全のため、大豆油インキを使用しています。